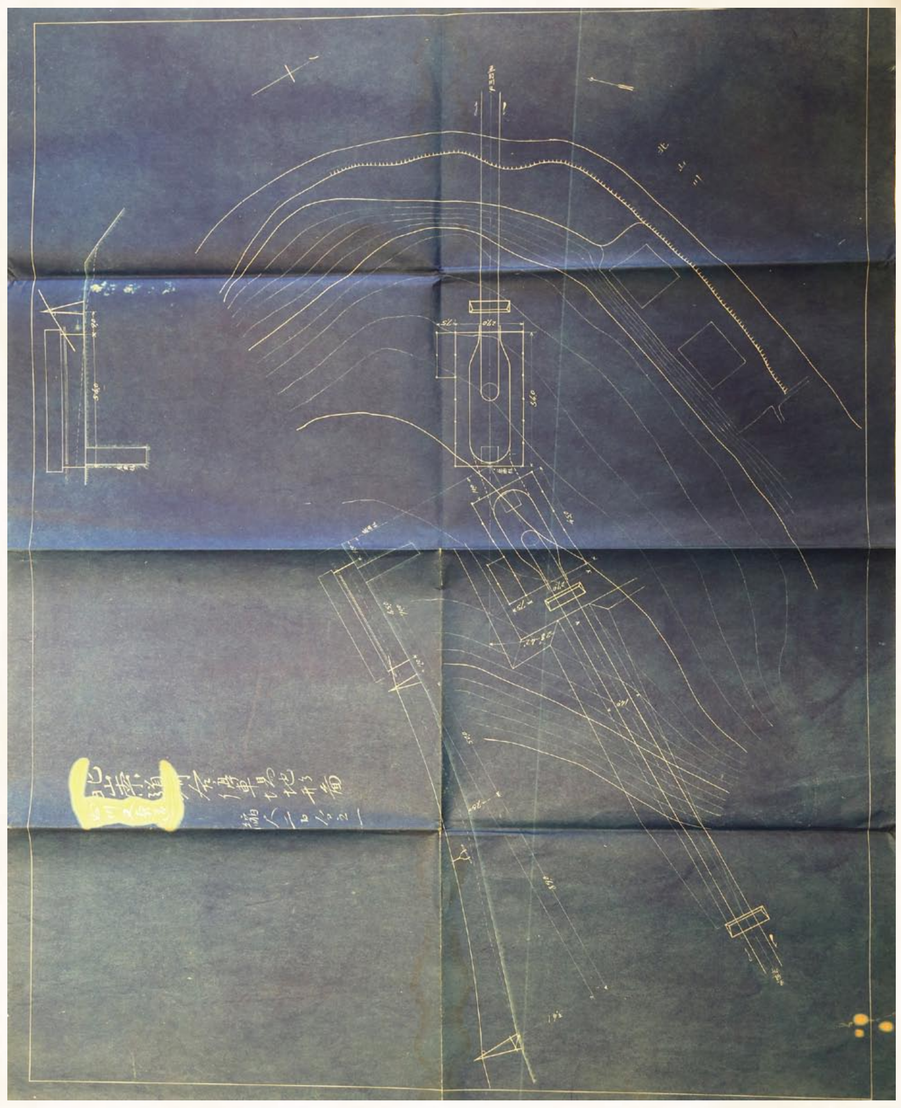
河合停車場と風折谷中継駅

河合停車場

白川又索道と北山索道の接続駅

国土地理院の承認を得て切取り複製して使用しています



河合停車場の図

高木勇男氏蔵

青図上部は白川又索道、ここで青図下部の北山索道の搬器に荷を乗せ換え、尾鷲へと運ばれた。

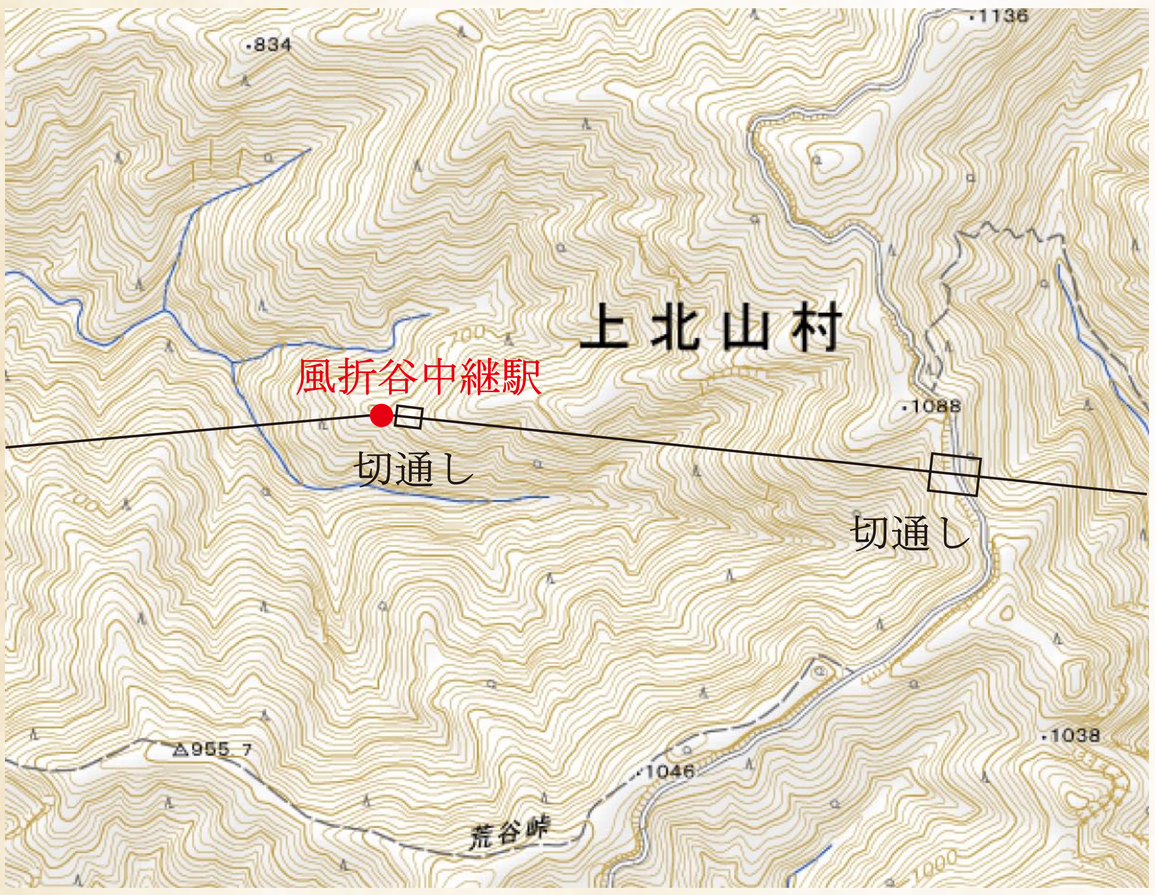
現在の上北山村河合地区
（手前は北山川）

景光之積荷物置場停車場河合線鐵路線之社會式株道索出北ト社會式株付木國三

河合停車場付近の写真

風折谷中継駅

これは驚き！



国土地理院の承認を得て切取り複製して使用しています

風折谷中継駅は 75 馬力の蒸気機関を設置し、河合停車場間及び平谷間を運転していた。疑問なのは水をどのように得ていたのか、という点である。駅は尾根上にあり、水を引くとしても難しい場所にある。雨水タンクを置いていた可能性もある。駅は、アプローチが困難な山稜のわずかな平地を利用して設置している。

これぞ先人たちの軌跡！
山を削る！掘る！大規模な切通し

駅舎跡（山稜のわずかな平地を利用している）

大規模な切通しは圧巻
一切妥協しない先人たちの努力に敬服